



大工志塾

伝統構法を「3本の柱」で実践研修

全国6教室で開講予定

東京・名古屋・大阪・福岡・長野・新潟





大工志塾 木造伝統構法の学びの場

日本の伝統木造建築構法は世界に誇る文化です。

古来、手刻みによる木組みの高度な技能・技術は、熟練の大工職人がいわゆる口伝によって実務の中で弟子たちに継承してきましたが、昨今の大工棟梁の高齢化や後継者となる若手大工の減少により、そうした個人頼みの技術継承はますます難しくなってきました。

そこで2018年、組織的かつ継続的な新しい大工育成の仕組みを作り、若手大工が工務店で働きながら伝統的な大工

技術を学ぶことができる「大工志塾」を設立しました。

入塾後3年間で伝統木造建築一棟を建てる力量を習得することを目指してつくられた独自の育成プログラムは、地域ごとに月に1,2回開催する「座学(教室講義)」と、日頃の「所属工務店での教育訓練(OJT)」、そして最大の特徴である各地域から塾生が一堂に集い実物件の課題制作に取り組む「集合実技研修」で構成されています。



1. 座学

6月～翌年3月まで毎月1回・2講義を実施、全6教室※開設
東京・名古屋・大阪・福岡・長野・新潟において講義を開催します。

※入塾者数によって変更することがあります

2. OJT

日常業務を通じた教育訓練(OJT, On-the-Job Training)
所属工務店(または指導棟梁)により、日常業務を通じて、
基本的な作業の安全管理やマナー、道具の使用方法等を指導します。

3. 実技

全塾生が集まって様々な課題を実技研修で制作
年1回、群馬県神流町で合宿し、伝統構法を活かした課題に取り組みます。

育成プログラム「3本の柱」

1. 育成プログラムの「管柱」^{くたばしら} - 座学

大工職人には、手先の技術に加え、様々な知識も必要とされることから、伝統構法の実技を交えた講義だけでなく、木造建築の歴史や山林の基礎知識等の教養的な講義も実施しています。

実技を交えた講義では、伝統構法の基本である「墨付け刻み」に重点を置き、規矩術や展開図・原寸図の作成方法を学びます。実際の木材に墨付けし、自ら手刻みを行い、継手・仕口作り、架構・軸組を組むまでの一連の流れを学ぶことで、知識と技術をより確実に習得することができます。



ができます。

また教養的な講義では、図面の読み方・書き方の基本や架構・構造の理解、林業や木材に関する基礎知識、木造建築の文化的側面などを学習し、大工棟梁となるための素地をしっかりと身につけます。



学習科目 ※科目は変更となる場合がございます

- 家づくりとは何か
- 日本の気候風土と住まい
- 木材の知識
- 山と木の話
- 住まいの設計(軸組図・納まり詳細図)
- 木組みの架構
- 大工の道具
- 墨付け刻み
- 造作の技術

2. 育成プログラムの「通柱」^{とおしばしら} - 工務店修業(OJT)

所属する工務店で働きながら、一人前の大工となるための技術や知識を学べるのが大工志塾の特長です。

OJTでは、工務店が指定する指導棟梁から現場でのビジネスマナーやコミュニケーション、大工道具の使用方法、安全管理等について学びます。

所属工務店には、OJTの一環として、座学(各地域の教室講義)で出された宿題に取り組む塾生への指導、実技を伴う宿題の実施に必要な木材提供等にも協力いただき、所属工務店と大工志塾が連携して塾生の成長を3年間サポートします。



OJT風景

宿題

3. 育成プログラムの「大黒柱」^{だいこくばしら} - 集合実技研修

毎年1回、全国の各教室から塾生が1ヵ所(群馬県神流町)に集合し、1~2週間に亘り、伝統構法を活かした実物件の課題制作に取り組みます。研修期間中、塾生は実技講師による懇切丁寧かつ集中的な指導を受けつつ、各自の習熟度に応じて割り当てられた担当部材の墨付け・刻みを行い、その後、各々が制作した部材を集め、伝統構法による木組みの建て方を実践します。こうした経験は、塾生の大工としての責任感と思考力を育むだけでなく、目標の達成感や自信の獲得にもつながります。

制作課題は年次に応じてレベルアップし、1年次は直交部材による単純な架構の「薪棚」、2年次は勾配の理解が必要な隅木が特徴の「あずまや」、3年次は修了制作となる「伝統構法の住宅(棟上げまで)」としています。



薪棚



あずまや



修了制作



集合実技研修中のグループワーク



実技課題制作に向けた墨付け・刻み

●大工志塾 修了生の声

入塾した頃は力もなく、わからないことばかりでしたが、一年ごとに行われる集合実技研修を通じて、自分の中に少しずつ自信が芽生えてきました。墨付け・刻みをする大工は減っているのに、塾で学んできたことを無駄にせず、今後活かしていきたいです。

大工は力がない女性でも段取りややり方次第でできる仕事です。女性大工を増やしていくためにも、私自身が刺激を与えられるような存在になっていきたいです。



堤 美月さん
1期生(2021年6月修了)

日頃の現場では先輩の技術や知識を教えてもらえることは少ない中、大工志塾には実技研修と座学があったので、とても身になりました。今後は注文されれば何でも建てられるような大工となり、さらには塾で自分が教えてもらったように、技術や知識を他者に伝えることができるような大工になりたいと思っています。



阿部 怜史さん
2期生(2022年6月修了)



修了制作では太鼓張りを担当させてもらいました。自社でも墨付け・刻みをしますが、梁の丸太や太鼓張りを扱う機会はなかったのが良い経験になりました。周りの塾生を見ていて、技術力の高い人は刃物が良く切れていることに気づき、自分も刃物研ぎを日々練習していかなければならないなと思いました。棟梁として自分で一軒の家を建てられるようになることが近い将来の目標です。



森山 裕介さん
3期生(2023年6月修了)

●募集要項 毎年6月入塾式～3年後の6月修了式 ※お問合せは随時受付中

応募者資格	①工務店の職員(雇用保険等社会保険への加入等により、実際に就業していることが認められる者)等である若手大工、見習い等であること ②健康であること ③入塾年度の前年度の末日において、満15歳以上であること。なお、 未成年(満18歳未満)の場合は、保護者が入塾に同意していること
募集人員	50名(全国6教室:東京・名古屋・大阪・福岡・長野・新潟)
授業料(年間)	1年次 25万円 2年次 25万円 3年次 25万円 (注)消費税は別途加算になります ※補助事業期間中の補助対象外経費のほか、補助事業期間外の塾運営費に充てられます。
指導報酬(年間)	塾生が所属する工務店とは、工務店修業(OJT)指導等に関する役務契約を締結し、その報酬をお支払いします。 (1年次 20万円 2年次 20万円 3年次 20万円)(注)消費税は別途加算になります
入塾申込	次の書類を大工志塾事務局に請求の上、郵送によりご提出ください。 ①入塾願書 ②塾生推薦書兼所属工務店登録書 ③雇用保険被保険者証通知書(写し)あるいは在職又は就業内定を確認できる書類 ※上記の応募書類により応募資格への適合性確認を行い、所属工務店宛に結果をお知らせします。
申込期間	毎年2月初旬～5月31日(必着)
提出先	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-7 セット東京ビル 6F 一般財団法人住宅産業研修財団内 大工志塾事務局 宛

J A H O 内閣府所轄 1977年設立
Japan Housing Organization
大工志塾事務局：一般財団法人住宅産業研修財団
〒102-0083
東京都千代田区麹町3-7-7 セット東京ビル6F
TEL: 03-6273-2585 FAX: 03-6273-2595
MAIL: daiku@jaho.or.jp

詳細はHPをご覧ください
Instagramもやっています!
<https://www.daikushijuku.com>
大工志塾 検索

